

キャタピラ式貯氷庫

ICE Automatic Discharge System



キャタピラ式貯氷庫は床全面が移動するため、根氷や残氷が発生しません。氷の長期間貯蔵と自動全量排出を実現しました。

従来の氷貯蔵庫では上部から掻き出す方法だったため下部の滞留氷が「根氷」となって排出が困難でした。また自動搬出には問題がありました。キャタピラ式貯氷では作業者の操作が不要のため氷搬出の完全自動化が可能となっています。貯氷庫の床全面を駆動させる構造としたことで貯蔵氷全量を水平移動させます。機外排出された氷は種々の搬送ラインを通過して船やトラック積載など連続して自動的に搬送を行えるようになりました。

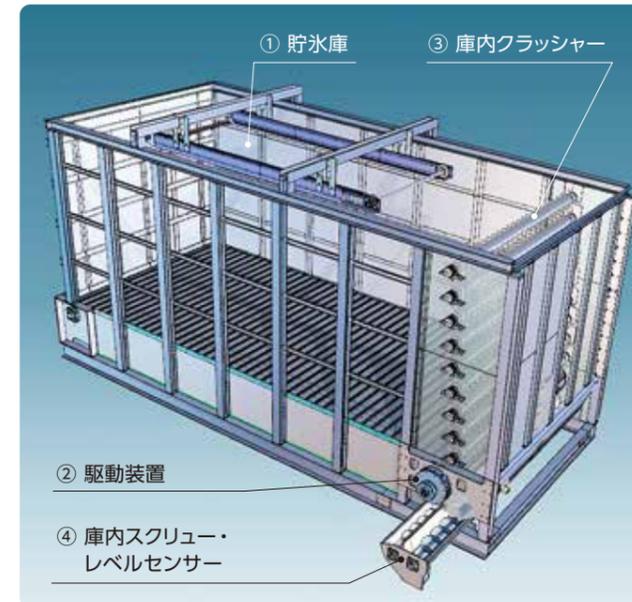
主な特徴

Main Characteristic

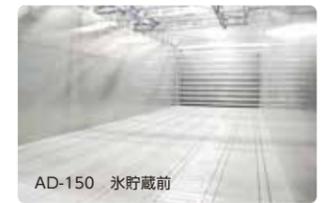
- 氷搬出の自動化 (根氷なし)
- 無人化 人件費ゼロ
- 選べる搬送方法
- 氷の大小選択可
- リモート制御
- POSによる販売管理

キャタピラ式貯氷庫

■構造図



① 貯氷庫 (貯氷量100%)
貯氷されている氷の様子。先入れ先出しとなります。



② 駆動装置 (貯氷量ゼロ)
AD-システム庫内 (-5 ~ -10℃) 床全体が前方へ移動します。



③ 庫内クラッシャー
前方に移動してくる氷の山を、ピンでかき落とします。



④ 庫内スクリュウ・レベルセンサー
庫内クラッシャーでかき落された氷を、ピンでかき落とします。

■製品型式

型 式	貯氷容量 TON	キャタピラ (kW)	庫内クラッシャー (kW)	庫内スクリュウ (kW)	均し装置 (kW)	外形寸法 (mm) *参考値			製品重量 TON	運転重量 TON
						W	L	H		
AD-5	5	0.4	0.75	0.75	-	1800	4500	3700	8	13
AD-8	8	0.4	0.75	1.5	-	2700	5400	3600	10	18
AD-10	10	0.4	1.5	1.5	0.4	2700	5400	4000	12	22
AD-15	15	0.4	1.5	1.5	0.4	2700	6300	4400	15	30
AD-20	20	0.4	2.2	2.2	0.4	3600	7200	4100	18	38
AD-30	30	0.4	2.2	2.2	0.4	3600	9000	4400	25	55
AD-40	40	0.4 × 2	2.2	2.2	0.4	3600	10800	4400	30	70
AD-50	50	0.4 × 2	2.2	2.2	0.4	3600	11700	4700	35	85
AD-100	100	0.4 × 2	3.7	3.7	0.75	4500	15300	5500	75	175
AD-150	150	0.75 × 2	2.2 × 2	3.7	1.5	5400	17100	5800	90	240
AD-200	200	0.75 × 2	3.7 × 2	3.7	1.5	6300	18000	6400	140	340
AD-250	250	0.75 × 2	3.7 × 2	3.7	2.2	7200	18900	6500	170	420
AD-300	300	0.75 × 2	3.7 × 2	3.7	2.2	7200	20700	6800	200	500

*上記はラインナップの一例です。必要貯氷量に応じて設計・製作することができますので、ご相談ください。 *末尾追加記号 F=マイナス温度で貯氷 C=プラス温度で貯氷 を指します。 *外形寸法2019年6月時点のものです。予告なく変更になる場合がございます。 *仕様によっては、モーターの数が増える場合がございます。 *実際の仕様とは異なる場合があります。詳細は各機種(型式)の仕様書をご確認ください。

■本体写真

AD-6



■設置事例

《大型トラック導入路》

